

## 1. 平成 30 年度事業報告について

我が国経済は、緩やかな回復が続いている。輸出はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環は着実に回りつつある。ただし、昨年夏に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられた。そうした中、当協会は、平成 30 年度も下記のとおり定時社員総会 1 回及び、通常理事会 3 回を開催し、また、基幹的分野である業務、海務及び労務の 3 専門分野を中心とする委員会活動等を通して協会諸事業の拡充・推進を図った。

### 1. 会務運営上開催した会議

#### (1) 定時社員総会

開催回数	1 回	出席人数	58 名
(第 64 回)			

#### (2) 通常理事会

開催回数	3 回	出席人数	70 名
合 計	4 回		128 名

### 2. 事業運営上開催した会議等

(1) 業務専門委員会	開催回数	2 回	出席人数	77 名
(2) 海務専門委員会	開催回数	2 回	出席人数	66 名
(3) 労務専門委員会	開催回数	2 回	出席人数	78 名
(4) 機関誌編集委員会	開催回数	1 回	出席人数	11 名
(5) 各委員会小委員会	開催回数	6 回	出席人数	119 名
合 計		13 回		351 名

### 3. 事業実施概要

業務、海務及び労務の 3 専門委員会等を中心に、次のとおり事業活動を推進した。

#### (1) 専門委員会活動

##### ①業務専門委員会

各地区における曳船事業を取り巻く環境を取り上げ、港湾の機能及び企業運営にかかわる諸問題を討議した。

第 1 回委員会において、港湾タグ事業に関する広報及び船員採用問題等について、意識の深度化を図り、それらの対応策について調査・研究するための小委員会として「船員採用問題等検討委員会」を設けることとした。

講演会・勉強会等を開催し、タグ事業における問題に関する調査研究を行い、今後も継続することとした。

#### ②海務専門委員会

タグボートの近代化に資する技術、資材の調査研究を継続して行った。現場におけるヒヤリハット事例を収集、分析し、タグボート作業の安全を推進する活動を継続した。

港湾タグボート係留基地の確保と整備に関する要望を国土交通省港湾局に提出し、横浜・川崎港地区及び千葉港地区では係留基地問題対策委員会を立ち上げ、関係者との協議を進展させた。

#### ③労務専門委員会

2回の委員会を開催し、各地区の労務関連情報の交換を継続した。

相互扶助のための労働災害総合保険団体契約を継続した。

第2回委員会において、パワーハラスメント等、労務上の問題と対応を調査研究するため、一般社団法人日本産業カウンセラー協会の講師によるメンタルヘルス研修（ラインによるケア）を実施した。

### (2) 教育・訓練活動

#### ①技術研修

協会主催による機関部乗組員を対象とした技術研修会を2回開催し、東日本地区（横浜市で開催8社19名参加）及び西日本地区（神戸市10社16名）で計35名が参加した。

#### ②委託研修

海技大学校に委託している研修では、甲板部を対象に「タグシミュレータ研修」（3回）、「タグBRM訓練研修」（2回）及び機関部を対象に「電気研修（初級）」（2回）、「アーク溶接研修」（3回）、「油圧回路研修」（2回）、「小型ディーゼル機関開放研修」（1回）を実施した。

参加者総数は、4ページに示す参加実績表のとおり、13社44名であった。

### (3) 調査・報告活動

#### ①各種調査

例年のとおり以下の調査を実施し、報告書にまとめ、関係専門委員及び会員に配布した。

「曳船燃料油価格調査」、「賃金調査」及び「臨時手当調査」

#### ②「会員・所属タグ一覧表」の作成・発行

平成31年1月1日現在の会員について、組織概要並びに所属タグの現況調査

を実施し、同年1月に「会員・所属タグ一覧表」を作成・発行し、会員及び関係先に配布した。

③調査統計報告書の作成・発行

平成31年1月1日現在の会員の運航タグ及び船員関係調査等の集計に基づく、「会員所属タグ調査統計並びに全国港湾入港船舶数抽出値統計」の報告書を作成し、会員及び関係先に配布予定。

④機関誌「ハーバータグ」等の発行

平成31年1月21日に第49号を発行し、会員及び関係先に配布した。また、平成30年7月、「タグ事業協会だより」をホームページに掲載した。

4. 会員数

平成30年4月1日における会員数

特別会員	11名	正会員	88名	計99名
------	-----	-----	-----	------

平成31年3月31日における会員数

特別会員	11名	正会員	88名	計99名
------	-----	-----	-----	------

以上

## 平成30年度タグ乗組員技術研修等参加実績

### (1) タグ乗組員「技術研修」

研修の種類	回数	開催日程	開催地
タグ乗組員技術研修	第1回 東日本地区	平成30年9月7日	横浜市 (8社 19名)
	第2回 西日本地区	平成30年11月16日	神戸市 (10社 16名)

### (2) タグ乗組員「委託研修」

研修の種類	開講回数	開催日程	受講人数
タグシミュレータ研修 (定員3～6名/回)	第1回	平成30年7月24日～25日	4名
	第2回	平成30年11月13日～14日	5名
	第3回	平成31年2月12日～13日	3名
		計	<b>8社 12名</b>
電気研修 (初級) (定員3～5名/回)	第1回	平成31年1月15日～16日	4名
	第2回	平成31年3月5日～6日	3名
		計	<b>5社 7名</b>
アーク溶接研修 (定員4名/回)	第1回	平成30年4月9日～10日	1名
	第2回	平成30年5月14日～15日	1名
	第3回	平成30年6月25日～26日	
	第4回	平成30年8月27日～28日	4名
	第5回	平成31年1月28日～29日	
		計	<b>4社 6名</b>
油圧回路研修 (定員3～5名/回)	第1回	平成31年1月17日～18日	5名
	第2回	平成31年3月7日～8日	3名
		計	<b>6社 8名</b>
タグBRM訓練研修 (定員4名/回)	第1回	平成30年7月26日～27日	4名
	第2回	平成30年11月15日～16日	取り止め
	第3回	平成31年2月14日～15日	3名
		計	<b>5社 7名</b>
小型ディゼル機関開放研修 (定員4名/回)	第1回	平成30年8月6日～7日	取り止め
	第2回	平成30年10月22日～23日	4名
		計	<b>3社 4名</b>
		<b>総 計</b>	<b>13社 44名</b>

※電気、油圧研修連続参加者については  
カウント2としている